

謹
賀
新
年



新年挨拶	2~4
2018北海道ホルスタインインターフェア	5
砂子田円佳さん最優秀賞受賞祝賀会開催される	6
第20回ミルクフェスティバル	7
牛追い作業を早く安全に	
飼料アップとかち展示会2018開催	8~9
平成30年度役員視察研修	
平成30年度役員研修 JA北海道大会参加	10
大分県農業関係者視察受入	
JAグループ北海道農業経営フォーラム	11
整備工場講習会	
東豊似牧場乳牛退牧	12
不法投棄合同パトロール	
農業用廃プラスチック類回収行われる	
不要農機具・車両等回収処理事業行われる	
農協記念日式典	13
メンタルヘルス研修会	

第43回 JA十勝青年部大会開催	14
JAひろお青年部農業空容器回収行われる	
JAひろお青年部除角作業を行いました	
JAひろお女性部秋期講習会	15
「営農計画書」の提出はお早めに	
年金相談会	16
年金友の会忘年会	
育成牛体側プロジェクトから①	17
普及センター技術情報	18
JAグループ通信	19
JAネットワーク十勝の動き	20
広尾警察署からのお知らせ	21
今月の運勢	
理事会	22
謹賀新年・役員名簿	24
投稿写真紹介	25

第20回 ミルクフェスティバル

11月8日、第20回ミルクフェスティバルが広尾町農村環境改善センターで行われました。

始めに、全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部 酪農生産指導室 研究開発顧問 斎藤 昭氏より、「哺育・育成管理と寒冷対策」と題して、寒冷期における哺育牛や育成牛の飼養方法等について詳しく講演して頂きました。



また、代用乳やスター、カーフジャケットといった酪農用の資材の展示と特徴を説明して頂き、参加された生産者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

講演終了後に懇親会が行われ、ミルキーズから提供されたチーズやお菓子、ケーキ等を食べながら親睦を深めました。

講演会の資料がありますので、興味のある方はお気軽に農業支援課までお問い合わせ下さい。

本野塚農事組合の新海伸一さんは、ドローン（小型無人飛行機）を使い、放牧地で牛追いをしています。日々の作業の省力化を目的に昨年春に購入しました。

昼夜放牧をする4～11月の朝夕の搾乳前に約70頭の乳牛を追う作業を行つており、自宅近くからドローンを操作して牛の後ろから牛舎の方向へ追うよう飛ばし、プロペラ音や風圧を利用して牛舎へ誘導します。放牧地で散り散りになつていても、音を聞けば立ち上がりつて移動する牛も現れるまでになり、数十頭が動き出せば他の牛もつられて歩き始め、立ち上がろうとしなかつたり、立ち止まつたりする牛には、耳元に機体を近づけた後、背中の真上から風を送ることで大抵の牛は動き出します。機体には障害物センサーが付いており、50センチ以内には近づかないため、機体の正面からぶつかる心配はほとんどなく、何度も繰り返しても動かない場合はあります。機体には放牧地は自宅から最大で300m離れており、場所によってはどこかし



ドローンで省力化！牛追い作業を早々安全

ているためバイクでは走りづらく、転んで怪我をすることもありました。また、雨天後は地面がぬかるんで走行できず歩いて追つていきましたが、今ではそれらの苦労からも解放され、他にも牧柵の点検等にも利用できることから、作業負担を減らす効果は抜群で高く評価している様子でした。

当JAでもドローンの取り扱いをしておりますので、詳しいことをお知りになりたい方は豊似給油所までお問い合わせ下さい。

砂子田 円佳さん

最優秀賞受賞祝賀会開催される

11月22日、第47回全国酪農青年女性酪農発表大会において酪農意見・体験発表部門で最優秀賞を受賞された砂子田円佳さんの受賞祝賀会が広尾町農村環境改善センターで開催されました。

はじめに主催者を代表して発起人代表の川崎 恵さんより名誉ある受賞に対して栄誉を讃えた挨拶があり、砂子田さんご夫妻に花束が贈呈されました。

その後、来賓を代表して田中副町長から祝辞があり、参加者全員で円佳さんが大会当日に発表されている映像を鑑賞して、広瀬組合長代行理事の発声で牛乳による乾杯が行われ祝宴に入りました。



宴の中では、テーブル毎に司会者から突然指名された方がお祝いのスピーチを行ったり、砂子田さんご夫妻を囲んでの全員による記念撮影が行われるなど会場は大いに盛り上がっていました。

受賞にあたり砂子田円佳さんより日頃からお世話になっている町内の生産者や関係機関各位、今回の発表までに助言や協力を頂いた関係者に対する感謝の意と「今後も自分の夢に向かって頑張っていきたい」という決意も含めて謝辞があり、最後に十勝農業改良普及センター十勝南部支所の宮部支所長の音頭で万歳が行われ閉会しました。



J A 北海道大会参加



11月13日、JA北海道大会が札幌コンベンションセンターで行われ、役員研修として当JA理事・監事が参加しました。

金道各地からJA役員及び青年部、女性部、各連合会役員など約2,000人が参加し、平成27年に開催された第28回JA北海道大会で決議された将来ビジョンや基本目標・実践方策は、改革プランの実践期間や一連の農協改革の動きが継続中であることから継承され、協同組合の価値と実践が新たに加わりました。

大会のメインテーマである北海道50万人と共に創る「力強い農業」と

5年実施された実践フォーラムでの事例発表にあるような、積極的な取り組みを継続して取り進めしていくこと、新規参入者や持続可能な農業生産に向けた人材確保への取り組みなどが提起され承認されました。

議案第2号では、次代に即した新たな協同組合の価値創造と、准組合員との関係づくりや、地域住民の理解促進を図り、次代につなげる協同組合の価値を見いだす取り組みについて提起され承認されました。最後にJAグループ一丸となつて取り組む大会決議案が承認され本大会は終了しました。

翌日は、北海道庁を訪問し、バイオガスに係る再生可能エネルギー活用について研修しました。国

画において、再生可能なエネルギーとして従来の「電気・熱」に「水素」を加えた、水素供給システムと水素発電の本格稼働



り、発電せず水素を取り出し、水素ステーションへ運ぶという新たな生産方式について詳しくお話を伺い、事業内容について積極的な意見交換を行いました。その後、エア・ウォーター㈱が所有する移動式水素ステーションを訪れ、実際に水素燃料を燃料電池自動車（FCV）に充填する設備を見学しました。全国でのFCV普及台数は2,500台で、北海道では2030年度までに9,000台の導入を目指しています。北海道では固定式を含めまだ3箇所しかありませんが、都市ガスやバイオガス等での水素供給と水素ステーションの小型化により、今後益々全国で広がることが期待されています。

今回の研修を通じて当JAが取り組むべき目標の達成に向けて大いに参考となりました。



11月10日、組合員向けの技術講習会が車輛整備工場で行われました。

今回は、久々のモーデルエンジンで発売以来非常に人気があり問い合わせの多いスズキジムニーの試乗展示会が帯広スズキ株式会社の協力により行われました。

講習の中で、スズキ車に限つたことはないが、今の車は燃費向上のためアルミエンジンとなつており、走行距離が短い軽トラ等は特に熱効率が高く、エンジン内部に水分が溜まりやすく後々悪影響を及ぼすことから、走行距離にかかわらず半年に一度のオイル交換とエアクリーナーの清掃（車検毎に交換）を行うことで長持ちするとのアドバイスがありました。

31年1月26日～27日には、恒例のホクレンニューアイドモーターショウが開催され、各社の新型車や大変お買い得な軽トラと厳選された中古車の展示販売も行われますので、ご家族のご来場をお待ちしております。

大分県農業関係者 視察受入

11月7日、役員道外視察研修でお世話になつた縁もあり、大分県の酪農家3名、他関係機関職員の合計6名が来組され、町内にて視察研修を行いました。

町内では、藤井将利牧場・小田治義牧場にご協力をいただき、現地視察と広尾町農村環境改善センターにて広尾町の新規就農者受入れ組された大分県の皆さんには北海道酪農の規模や広大な土地に感心している様子でした。

当日は、普通車規格のジムニーシエラが持ち込まれ、新型ジムニーの開発コンセプトや魅力がDVDで紹介され、講師をされたスズキの豊田係長からも実車を用いて細かい説明がなされ、来年早々に生産ラインの増強は行われるが、現状でジムニーは概ね1年・ジムニーシエラは2年程度の納車待ちになると説明がありました。

海道酪農の規模や広大な土地に感心している様子でした。

J A グループ北海道農業経営フォーラム

11月14日に札幌ビューホテル 大通公園地下2階 ピアリッジで農業経営者やJA役職員ら約270人が参加し、JAグループ北海道農業経営フォーラムが開催されました。

第1部講演 テーマ「トップアバーレ代表取締役 島崎秀樹氏の講演がありました。

JAグループでは売上高が13億円であり、社員については入社から数年後に独立就農をし、約30名程の就農者を輩出しているとのことでした。また、従業員の意欲を高めるには、経営者が従業員を自分の子供以上にかわいがることが重要であるということでした。

農業の雇用については、農家の感覚とはすこし違い、従業員の給料については、ちょうどよいと感じる金額は安すぎであり、払いすぎと思うくらいでちょうどよいとのことです。JAの講演がありました。

第2部講演 テーマ「いま経営者に求められるもの～松下幸之助の人づくり」では、志ネットワーク代表で松下政経塾で塾頭を務めた上甲晃氏の講演がありました。

同塾を立ち上げた松下幸之助氏の経営の考え方などが紹介され、企業経営の考え方などが紹介され、企業

整備工場講習会 納車は1年以上先...それでも乗りたい!

11月10日、組合員向けの技術講習会が車輛整備工場で行われました。

今回は、久々のモーデルエンジンで発売以来非常に人気があり問い合わせの多いスズキジムニーの試乗展示会が帯広スズキ株式会社の協力により行われました。

講習の中で、スズキ車に限つたことはないが、今の車は燃費向上のためアルミエンジンとなつており、走行距離が短い軽トラ等は特に熱効率が高く、エンジン内部に水分が溜まりやすく後々悪影響を及ぼすことから、走行距離にかかわらず半年に一度のオイル交換とエアクリーナーの清掃（車検毎に交換）を行うことで長持ちするとのアドバイスがありました。

31年1月26日～27日には、恒例のホクレンニューアイドモーターショウが開催され、各社の新型車や大変お買い得な軽トラと厳選された中古車の展示販売も行われますので、ご家族のご来場をお待ちしております。

11

JAひろお通信 ピロロ 2019年1月 10

農協記念日式典



「協同組合と報徳について学ぶ」

11月17日、農協記念日の式典が広尾町農村環境改善センター多目的ホールで役職員の出席により開催されました。

この催しは、農業協同組合法が昭和22年11月19日に制定されたことを記念して毎年この時期に行われております。

式典では萬龜山組合長の訓辞の後、職員の永年勤続表彰並びに農協職員資格認定試験等の資格取得に対する表彰を行い、受賞者を代表して農業支援課の阿部課長が謝辞を述べました。

式典終了後、北海道報徳社常務理事の柴田浩一郎氏を講師に迎え、「協同組合と報徳」というテーマで講演が行われました。

農協の各事業の理念や農協の本来あるべき姿について、協同組合活動の根幹をなす報徳思想の観点からお



な存在であることを知ることであると説明されました。

その他、協同組合運動を前進させる力は女性にあるとのことで、農業経営においても女性の活躍は今後移り変わりと共に変化していますが、未永く社会のために人々のために役立つ組織として存在し続けるために必要なことを再認識した研修でありました。

協同組合を取り巻く環境は時代の変遷とともに変化していますが、農業経営においても女性の活躍は今後欠かせないものになると強調されました。

メンタルヘルス研修会

11月15日、広尾町農村環境改善センターでJA職員を対象に、メンタルヘルス研修会が開催されました。今回は北海道農業団体健康保険組合の柴田保健師を招き、「働く人のこころの健康」と題して心のケアについて研修を行いました。

仕事でのストレスは、人によって捉え方が様々ですが、自身が認識していないストレスが蓄積している場合もあります。周囲から声かけをすることが重要で、ちょっとした変化に気づいてあげる事と、相手から話しやすい環境や雰囲気を整える事が必要であるとの事でした。また、ストレスに強くなるために否定的な考え方をやめて、ポジティブな考え方を持つことで、抵抗力を高めることも重要であるとお話しされました。

短時間の研修ではありましたが、皆真剣に聞き入り、心身のケアに対する意識が変わったひとときでした。



不法投棄合同パトロール



11月16日、広尾町内において不法投棄合同パトロールが町内各団体によって行われました。

このパトロールは、河川や山林道に不法に投棄されたごみの状況調査と回収を目的に毎年2回行われます。

毎年のパトロールによって不法投棄は年々減少傾向にありますが、未だに一部の地域では家庭ごみが見つかり、検挙に至るケースもあります。不法投棄根絶のためにも、ご家庭で不要となった家庭ごみや電化製品については、適正に処理をお願いします。

東豊似牧場 乳牛退牧

10月22日、町営牧場で預託牛148頭の退牧が行われました。

今年は、台風や雨天が続いたこともあり、牧草の生育や牛の健康状態が心配されましたが、例年通りの退牧時期を迎えることができました。

放牧により牛たちも大きく育ち、それぞれの牧場に戻りました。これから良質な生乳生産に貢献することを期待しています。



不要農機具・車両等回収処理事業行われる

11月12日～16日の5日間、中山間地域等直接支払交付金事業の集団取組の一環として不要農機具・車両等回収処理事業が行われました。

本年度の事業実施戸数は35戸で、車両5台、農機具14台、その他雑品等を回収しました。

不要農機具や車両などの適正処理は使用者の義務ですので、適正処理を行う上でも回収処理の際にお申し込み下さいよう宜しくお願いします。



農業用廃プラスチック類回収行われる



11月5日～6日の2日間、本年度2回目の農業用廃プラスチック類の回収が行われ、集積場に62戸より約100tが回収されました。

農業用廃プラスチック類の処理にあたっては、リサイクルによる処理が基本であり、所有地への埋め立てや野焼き、山林・河川への不法投棄は法律で禁止されていますので、適正処理を行う上でも回収の際にお持ち下さいよう宜しくお願い致します。



秋期講習会

手先を使う作業なので皆さん悪戦苦闘していましたが、少しずつできあがっていくと飾り付けの位置や角度によつて個性豊かなしめ飾りができました。

また、しめ飾りは29日に飾ると縁起が悪く、31日は一夜飾りといつて神様に失礼ということでこの日を避けて飾るようにと、うつていてるようで意外と知らないことを教

会を行いました。しめ縄の由来や意味・飾る向きなどの話しを聞きながら作業を行いました。

農村環境改善センターで昨年の春期講習会で講師をお願いした山代久美子さんを再びお招きして、お正月に飾れるしめ飾り講習

1月20日、JAひろお女性部では玄尾町



講習会後は忘年会を行いオードブルなどを食べながら世間話をして楽しい時間を過ごしました。今後も女性部では皆さんに楽しんでいただけるような講習会等を企画して行きますので、皆さんの参加をお待ちしております。

参加し開催されました。開会式の後、JA青年発表大会が行われ、今年度発表単組のJA陸別町、JAめむろ、JA豊頃町、JA本別町、JA帯広かわにし、JA鹿追町より実績発表が行われました。午後より「動画で発信！農の魅力コンテスト」が行われ、各単組が「農業農村の魅力を発信しよう！」をテーマに作成した1分間CMが上映されました。

分科会の後閉会式に移り、活動実績発表と1分間CMの成績発表が行われ、活動実績発表はJA豊頃町が最優秀賞を獲得

11月27日、第43回JA十勝青年部大会が『紡ぐ』想いを結んで歩み出そう』の大会テーマのもと、ホテル日航ノースランド帯広で十勝地区農協青年部協議会の盟友575名が

し、1分間CMは、JA帯広かわに
しが最優秀賞を獲得しました。

その後懇親会では、それぞれ盟友
同士が情報交換を行い、余興でアーリ
ムレスリング大会や純農B.O.Yコン
テストが開かれるなど、会場はとても盛
り上がり十勝大会が終了しました。



講習会後は忘年会を行いオードブルなどを食べながら世間話をして楽しい時間を過ごしました。今後も女性部では皆さんに楽しんでいただけるような講習会等を企画して行きますので、皆さん の参加をお待ちしております。

JAひろお
青年部

除角作業を行いました

11月21日、青年部による除角作業が行われました。

作業依頼のあった牧場をまわり、全56頭の除角作業を行いました。



平成31年度の農業にあたって「農業計画書」は経営の指針となるものであり、本年度の目標を決める大切な計画書でありますので、「ご家族皆さんで十分相談の上、期限まで提出されますようお願い申し上げます。

なお、提出期限を過ぎても未提出の場合には計画書が提出されるまで組合員勘定による資金の提供は出来ませんので宜しくお願ひ申し上げます。

平成31年1月21日(月)

「営農計画書」の提出はお早めに

11月27日、第43回JA大会が『紡ぐ想いを結ぶ』の大会テーマのル日航ノースランド帯広農協青年部協議会の盟友参加し開催されました。

開会式の後、JA青年発表大会が行われ、今年度発表単組のJA陸別町、JAめむろ、JA豊頃町、JA本別町、JA帯広かわにし、JA鹿追町より実績発表が行われました。午後より「動画で発信！農の魅力コンテスト」が行われ、各单組が「農業農村の魅力を発信しよう！」をテーマに作成した1分間CMが上映されました。

分科会の後閉会式に移り、活動実績発表と1分間CMの成績発表が行われ、活動実績発表はJA豊頃町が最優秀賞を獲得

し、1分間CMは、JA帯広かわに
しが最優秀賞を獲得しました。

その後懇親会では、それぞれ盟友
同士が情報交換を行い、余興でアーリ
ムレスリング大会や純農B.O.Yコン
テストが開かれるなど、会場はとても盛
り上がり十勝大会が終了しました。

農業空容器 回収行われる

JAひろお
青年部

11月5日、JAひろお青
年部による農業空容器回収

内6戸の組合員宅を巡回し、事前に組合員各戸の協力により分別された農薬空容器をトラックに手際よく積み込み、約250kgを回収しました。



11月13日、広

尾町農村環境改
善センターで社

会保険労務士を
迎え年金相談会

を開催しました。

この相談会は、
年金の請求手続

きや受取方法、
受取金額など年

金に関する事に
ついて個別に相

談する形式で毎年行われており、当日は、まもなく年金
を受け取られる方を中心に6名が参加し、それぞれの方

が社会保険労務士のアドバイスに熱心に聞き入っています。

年金制度は、受給開始年齢や受給金額の変更などがあ
り理解するのが大変だと思われがちですが、相談会では
専門の社会保険労務士から解りやすく説明されるので、

参加者に大変好評な相談会となっています。

金融・共済課では、今後も継続して相談会を開催して
参りますので、これから年金を受け取られる方や年金の
仕組み等について詳しく知りたい方は、是非参加下さい
ますようお願い申し上げます。

また、年金友の会では新規会員を随時募集しております
ので、当JAで年金を受け取られている方や、受取り
を予定されている方は金融・共済課までお問い合わせ下
さい。



JAひろお
年
友
の
会

忘年会

12月6日、JAひろお年金友の会
の忘年会が広尾町農村環境改善セン
ターで開催され、44名の会員が参加
して年内最後の行事
を楽しみました。

今回は、芽室町に
住む、田舎のマジシ
ヤン「MITSUY
UKI KATO」

さんによる鳩等を使
ったマジックショウ
が披露され、とても
楽しむ事ができまし
た。

その後、広尾警察
署職員によつて、町
内で最近になつて実
際に起きた事例をも
とに架空請求詐欺防
止対策や交通安全に
かかる講演が行われ
た後、宴会が行われ、
おいしい料理とお酒



をいただきながらビンゴゲームで盛
り上がり、会員同士が楽しく交流を
深める事ができました。

育成牛体測プロジェクトから①

はじめに

育成牛は、あなたの農場の将来の
牛群です。

たしかに、育成牛への投資は早期
に利益をもたらすものではありません
が、数年後に向けた収入の確保に
貢献するでしょう。

では、農場の育成牛管理の問題点
とはどの様な事があるのでしょうか？

そもそも育成管理の実態はどうなつ
ているのでしょうか？我々は何をし
たら良いのでしょうか？

まずは、乳検データの分析を見て
みましょう。

一 乳検データから見る
育成牛の実態

乳検加入農場の平均初産分娩月齢

表 初産分娩月齢の分布

月 齢	戸数割合
24ヶ月以下	46%
25ヶ月以上	54%

株式会社清流酪農サービス
代表取締役 海田佳宏

は25・6ヶ月です。戸数割合で24ヶ月
以下が46%、25ヶ月以上が54%になつ
ています（表）。

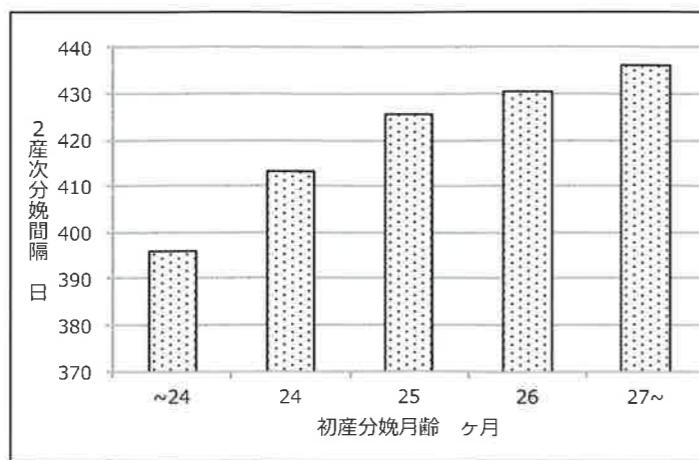
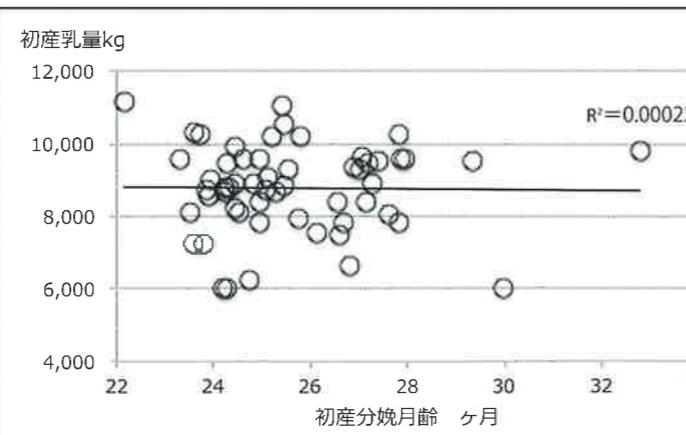


図2は初産分娩月齢と初産から2産

に向かう分娩間隔の関係を示したグラ
フです。初産分娩月齢が遅延すると初
産次の繁殖成績が低下しています。

以上より、初産分娩月齢の遅延を改
善することは泌乳生産開始を早めるメ
リットに加え、その後の繁殖成績も良
好である傾向が示唆されます。

育成牛の発育成績はデータ化する

ことが困難です。そこで平成28年か
ら30年にかけて町内飼養牛約千頭に
ついて体格調査を実施し、発育の実
態調査を実施しました。次回からは
その結果に基づいて問題点を探つ
みたいと思います。（つづく）

17

子牛の抵抗力をつけましょう。

厳寒期は、子牛の抵抗力や免疫力が低下しやすくなります。そのため、子牛の抵抗力を高める管理が大切になります。

また、子牛を預託農場に預ける場合は、子牛受託農場毎に存在する病原体が異なるため、母牛の初乳に含まれる抗体だけでは不十分です。そこで、自家育成をおこなう場合以上に、多様な病原体に対する抗体を獲得しておく必要があります。

○母牛へワクチンを接種しましょう

自家の子牛の抗体価を高めるために、母牛へワクチン接種をおこないましょう（表1）。ワクチンを接種した母牛の初乳には、多様な病原体に対する抗体が含まれます。

① 呼吸器病ワクチン

接種時期
・分娩予定の一ヶ月前に一回接種する。（初産牛の場合、分娩前1.5ヶ月前、0.5ヶ月前の二回接種する。）

② 下痢症ワクチン

接種時期
・分娩予定の一ヶ月前に一回接種する。（初産牛の場合、分娩前1.5ヶ月前、0.5ヶ月前の二回接種する。）

○子牛にはお腹いっぱい初乳を飲ませましょう。

普及センター技術情報

表1. 主なワクチンの種類と、予防できる病名について

呼吸器病ワクチン

病 名	略 称	症 状 (◎: 重篤で頻度の高い症状)					
		発 热	元気・食欲の低下	肺 炎	下 痢	死 亡	異常産
牛伝染性鼻氣管炎	I B R	◎	◎	◎		◎	○
牛ウイルス性・下痢粘膜病	B V D - M D	◎	○	○	◎	○	◎
牛パラインフルエンザ	P I 3	○	○	○		○	
牛R Sウイルス病	R S	◎	◎	◎		○	
牛アデノウイルス病	A d 7	○	○	○	◎	○	

*持続感染牛は牛群中で感染源となります。

生ワクチン接種時の注意事項

B V Dウイルスの生ワクチンは、妊娠牛に摂取できません。

(引用: 十勝ほ畜育成受託協議会)

下痢ワクチン

病 名	特 徵
牛口タウイルス病	黄白色水溶下痢、2週齢以内で発症、混合感染
牛コロナウイルス病	乳白色水溶下痢(血液混)、1週齢程度で発症、冬季に多発
牛大腸菌症	泥状～水溶の悪臭を発する下痢、2週齢以内で発症、混合感染

ワクチン接種に関する詳細は、かかりつけの獣医師に相談してください。

(引用: 十勝ほ畜育成受託協議会)

J A グループ通信

J A グループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。J A 北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。各団体の詳しい取り組み内容はWE Bサイトをご覧ください。

J A 北海道中央会



11月13日、J A グループ北海道の役職員はじめ約2400名が参加し、「第29回J A 北海道大会」を開催しました。

大会では、将来ビジョン『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村』の実現を継承し、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を決議しました。協同の力と総合力を發揮し、一丸となつて決議事項の実践を通じた自己改革を取り組みます。

決議事項の実践内容や農業・J A・協同組合の意義や価値の発信により、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指します。

木クレン



北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018年第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年はJ A北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび！」とJ A北海道農協青年部協議会の「農業クイズ」などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。

J A 北海道信連



9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさっぽろ」が開催され、J Aバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。J Aバンクでは、お金の考え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになつたみたい」とお札の束を広げる子も…。未来のサポート一づくりへ、来年以降も参加していきたいと思います。

J A 北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバッケンナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

J A 共済連北海道



10月27日㈯にANAクラウンプラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度J A共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4,342点の応募をいたいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。



広尾警察署からのお知らせ

特殊詐欺の被害防止

インターネットの利用料金の未納等のメールや訴訟ハガキを送りつけ、電子マネーの購入や宅急便を使った現金送付などでお金を騙し取る詐欺が発生します。

「サイト料金未納」は詐欺です。

「訴訟告知ハガキ、封書」は詐欺です。

「電子マネーでのお支払い要求」は詐欺です。

「ATMで還付金」は詐欺です。

このような連絡が入った場合は、広尾警察署に相談してください。

冬道における交通事故の防止

ストップ・ザ・交通事故 ~めざせ 安全で安心な北海道~

冬期間は、路面凍結などにおけるスリップによる交通事故や吹雪による視界不良を伴う多重事故など、冬型の交通事故が増えるので気をつけましょう！

【広尾警察署 2-0110】

1月 今月のあなたの運勢 モナ・カサンドラ

牡羊座 3/21～4/19



牡牛座 4/20～5/20



双子座 5/21～6/21



蟹座 6/22～7/22



全体運 できる人と比べ、落ち込みやすい傾向がチラリ。「人は人」と割り切って。リフレッシュするには神社散策が吉
健康運 食生活が乱れがち。特に暴飲暴食に注意
幸運の食べ物 タラ

全体運 前向きな気持ちになれる月です。やってみたいことがあるなら、積極的に取り組んでみて。新チャレンジも幸運
健康運 体を軽く動かすことできり回復の兆し
幸運の食べ物 伊予カン

獅子座 7/23～8/22



乙女座 8/23～9/22



天秤座 9/23～10/22



蠍座 10/24～11/22



全体運 いつなく神経質になってしまうかも。深刻に受け止めやすいので、気楽に構えること。深呼吸でリラックスを
健康運 温活に力を入れると、順調に過ごせます
幸運の食べ物 おから

全体運 レジャー運が盛り上がる予感。気の合う仲間たちと一緒にやかに過ごして。新年会などの幹事役は進んで引き受け吉
健康運 無茶なダイエットは×。肩の力を抜いて
幸運の食べ物 ワカサギ

射手座 11/23～12/21



山羊座 12/22～1/19



水瓶座 1/20～2/18



魚座 2/19～3/20



全体運 プライベートの充実に力を入れると、満足感を得られます。興味を持っていた趣味や習い事を始めるのも正解
健康運 規則正しい生活を。特に早起きがグッド
幸運の食べ物 キンメダイ

全体運 自分に自信が生まれやすいもよう。大胆にリーダーシップを發揮しましょう。また、未体験の世界に飛び込むのも大賛成
健康運 評判の健康法が体質にぴったり合うかも
幸運の食べ物 京菜

全体運 今まで付き合ったことのないタイプと知り合える期間。飲み会には意欲的に参加して。趣味の集まりにも注目を
健康運 疲れやすい暗示。早めのケアを心掛け
幸運の食べ物 納豆

平成30年11月

JAネットワーク十勝の動き

JAネットワーク十勝

組合員の皆様に、ネットワーク事業の推進状況をご報告申し上げます。

1. 生産・販売の強化について

- 平成28年度に策定した「十勝農業ビジョン2021～世界に誇る十勝農業～」に示した基本姿勢に従い、5年後の農業生産額の目標3,500億円達成に向けて取り組んでいます。2年目の本年は、「十勝農業ビジョン2021」に示した目標を達成するための課題への取組状況について、会員JAへのヒアリングを行い、今後の取り進め方針について検討を進めています。
- 「Madein十勝」ブランド事業については、「とかちマルシェ」、「ホクレン大収穫祭」などのイベントに「十勝ごちそう共和国」として出店したほか、十勝和牛振興協議会などの関連団体とも連携して、十勝JA産農畜産物・加工品のPRに努めています。また、本年9月からラジオCMの放送も開始し、「Madein十勝」ブランド事業の知名度向上に取り組んでいます。
- 「十勝型GAP」については、農林水産省の示す「農業生産工程管理(GAP)の共通基盤に関するガイドライン」にチェックリストの内容を準拠させ、全生産者を対象として、引き続き取り組んでいます。また、国際水準GAPの取り組みについては、十勝地区農協組合長会と連携し検討を進めています。

2. JA経営の強化について

- 平成22年度に策定しました「管内JA全体の経営戦略」に基づき、優秀な職員の確保・育成のために、専用ホームページによる管内JA職員採用情報の提供と、JA北海道中央会との連携により、道内大学に対する就職説明会を実施しています。

H31.1.4 金 ~ 3 木

新春
特別定期貯金
組合員様限定のプレゼント！

対象者
正組合員（家族・構成員含む）

優遇措置
定期貯金金利の上乗せ

対象貯金：スーパー定期貯金
預入貯金：10万円以上

預入期間：1年以上
適用金利：1年以上→店舗金利+0.10%

第10回 理事会

開催日時 平成30年10月30日（火）午後1時00分
開催場所 広尾町農村環境改善センター 視聴覚室

●議案

- 議案第1号 定款の一部変更について
- 議案第2号 規程類の一部変更について
- 議案第3号 生乳受託販売規程の改正について
- 議案第4号 大口信用供与額の設定について
- 議案第5号 出資金の払い戻しについて
- 議案第6号 組特組合員の再編について
- 議案第7号 営農中止に伴う期限の利益喪失について
- 議案第8号 平成31年度営農計画書の審査方針について
- 議案第9号 平成31年度生乳計画生産目標数量の設定について

●協議事項

- 1. 胆振東部地震・台風21号被害組合員に対する支援（案）について
- 2. 公共牧場の現状と今後の対応（案）について
- 3. 信用事業の今後の方針性について
- 4. 賦課金の見直しについて

開催日時 平成30年11月28日（水）午後1時00分
開催場所 広尾町農村環境改善センター 視聴覚室

●報告事項

1. 9月末経営定期点検の結果について
2. 内部審査の結果について
3. コンプライアンス・プログラム進捗状況について
4. 平成30年度JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について
5. 組合員の脱退について
6. 第71回農協記念日行事について
7. JA女性部の加入方法の変更について
8. 組特組合員の9月末組合員勘定取引実績について
9. 平成30年度重点取組事項の進捗状況について
10. 平成30年度収支予測について
11. 平成31年度外国人技能実習生の受け入れについて
12. 資金貸付の事業内容変更について
13. 農作物の生育調査について
14. 生乳生産動向について
15. 法定伝染病発生に伴う対応の進捗状況等について
16. 法定伝染病検査状況について
17. サンタ村直売所の個別販売状況について
18. 収穫市売上報告について
19. 地区別懇談会の開催について
20. 石油類価格の改定について

第11回 理事会

●議案

- 議案第1号 道常例検査指摘事項に対する状況報告について
- 議案第2号 経営所得安定対策に係る数量払い交付金の仮渡し要領（案）について
- 議案第3号 平成31年度農場リース事業の進捗状況について
- 議案第4号 各種資金の貸付について
- 議案第5号 信用供与等の特認区分及び特認額の変更について
- 議案第6号 信用事業の方向性について

●協議事項

1. 年末年始の業務態勢について
2. 組特組合員の営農計画について（平成31年度）
3. 公共牧場の現状と今後の対応（案）について
4. 平成30年度地区別懇談会の意見・要望に対する回答について

●報告事項

1. 10月末経営定期点検の結果について
2. 職制規程（職務権限表）の一部変更について
3. 組合員の加入について
4. 信用評定委員会に係る答申について
5. 北海道胆振東部地震及び台風21号に対する国支援策について
6. ブルピラオロの機械導入（取り下げ）について
7. 畜産クラスター（機械導入事業）の要望調査について
8. 平成30年度北海道粗飼料確保緊急対策事業の参加について
9. 各種資金の貸付に伴う貸付利率の変更と保証範囲の確定について
10. 平成31年度の生乳生産における乳代単価について
11. 生乳生産動向について
12. 法定伝染病発生に伴う対応の進捗状況等について
13. 石油類価格の改定について
14. R22フロンガスを使用したバルククーラーの状況について

投稿写真紹介



豊似小学校3・4年生と 豊栄会の出前授業で記念撮影



謹賀新年
JAひろお広報委員会
委員長 委員
神杉谷阿外村山森松宝山大
代山 部崎上畠 山泉本庭
美高尚昌 克尚祐孝 公克
紀志弘幸陽司之司三新徳彦

広尾給油所

課長 山畠 尚之

高橋 一哉 熊谷 一成紀

主任 末永 大地 奥村 和宏 伊藤 まみ子

車両整備工場

工場長補佐 川島 浩二
工場長補佐 鈴木 幸治
工場長補佐 鎌田 竜依
工場長補佐 鈴木 陸也
工場長補佐 飯島 雄司
辻本 忠雄
平 忍
工場長 村上 竜司
工場長補佐 小原 哲也

